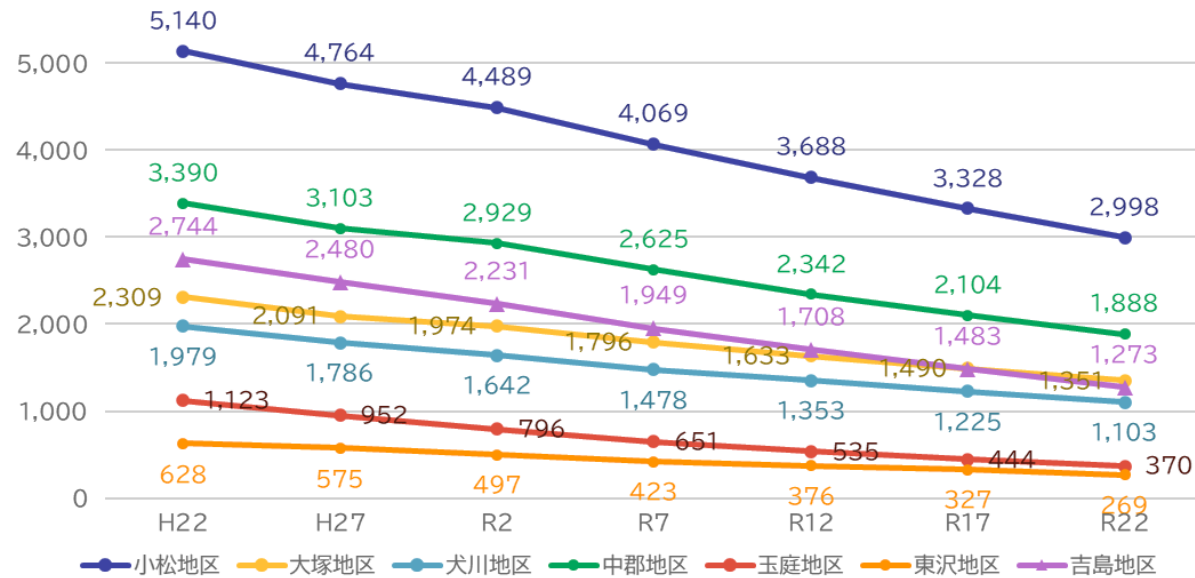
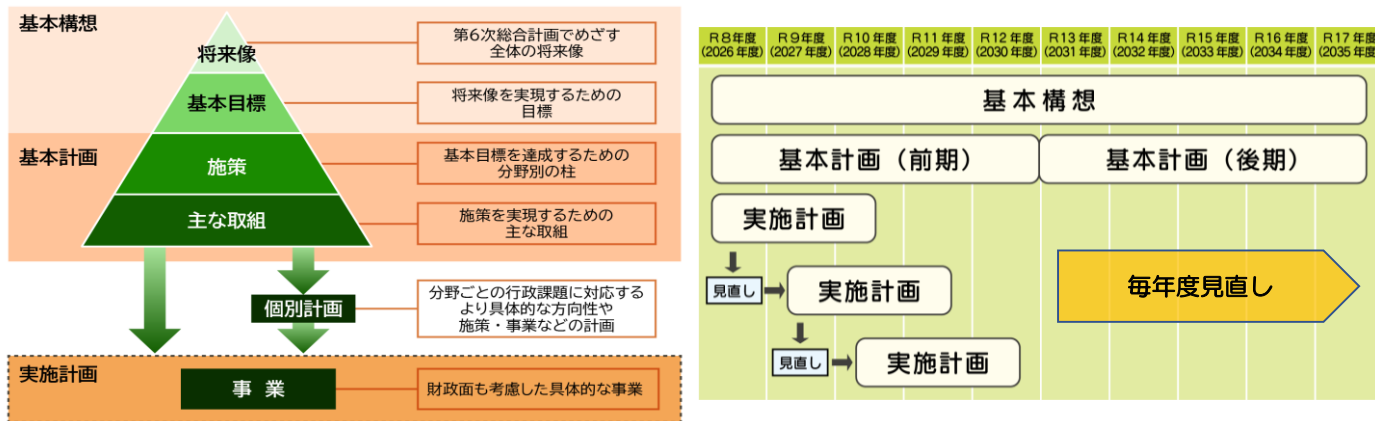
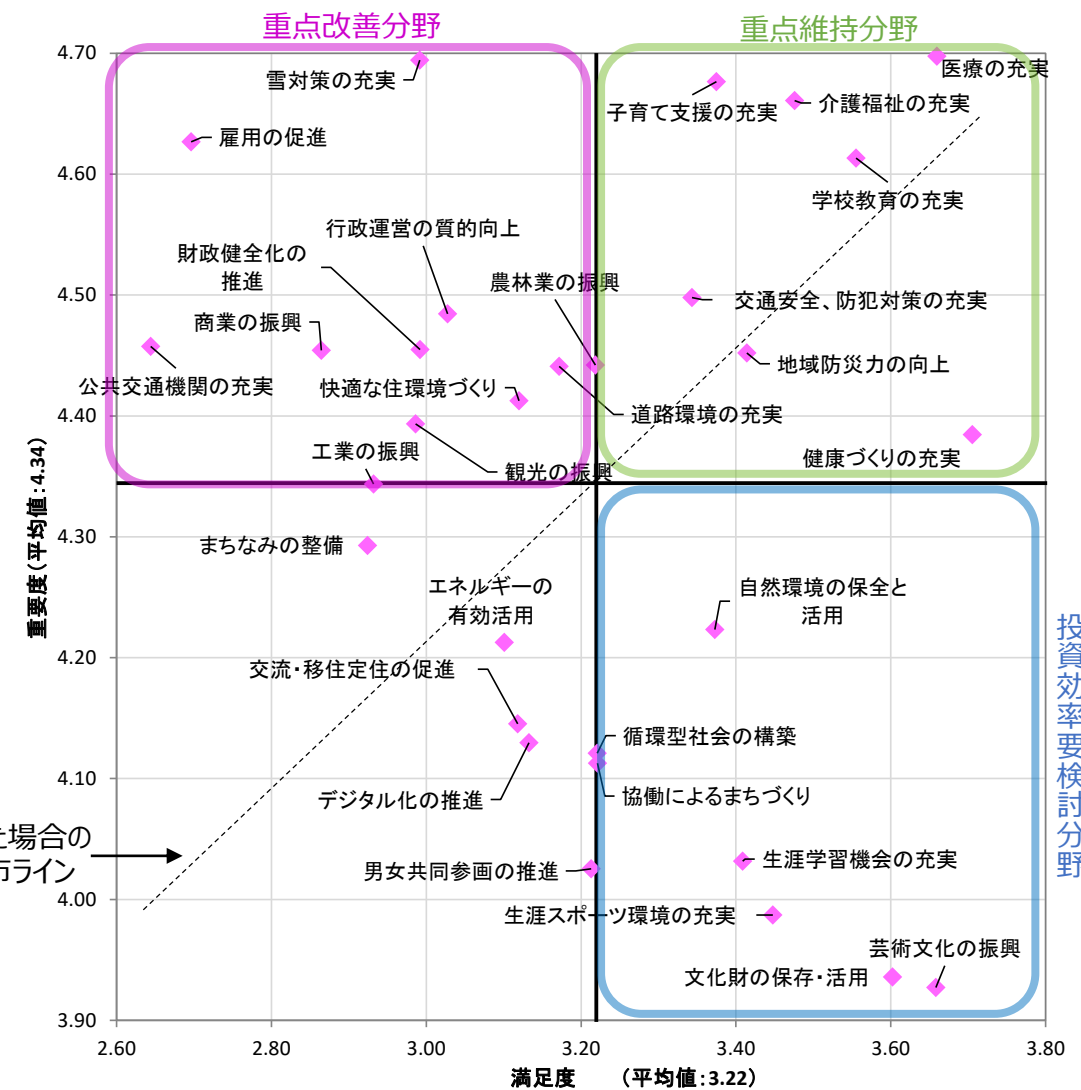
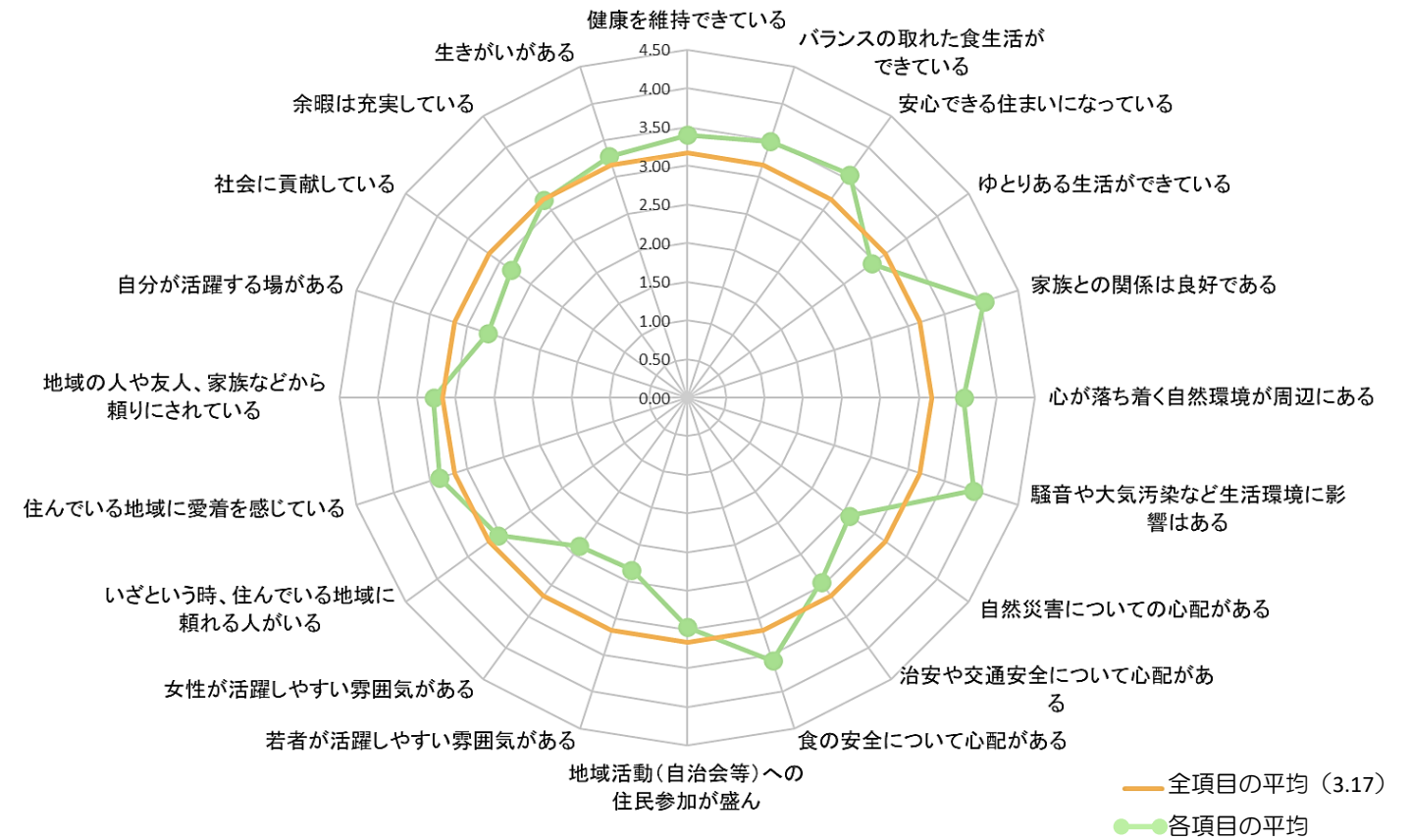


人口減少下における持続可能なまちづくりに向けて、町民とともに川西町を次世代につなぐ
第6次川西町総合計画を策定



	10年前と令和2年の比較	令和2年と10年後の比較
小松地区	651人（12.7%）の減少	801人（17.8%）の減少
大塚地区	335人（14.5%）の減少	341人（17.3%）の減少
犬川地区	337人（17.0%）の減少	289人（17.6%）の減少
中郡地区	461人（13.6%）の減少	587人（20.0%）の減少
玉庭地区	327人（29.1%）の減少	261人（32.8%）の減少
東沢地区	131人（20.9%）の減少	121人（24.3%）の減少
吉島地区	513人（18.7%）の減少	523人（23.4%）の減少
川西町	2755人（15.9%）の減少 17,313人 → 14,558人	2922人（20.1%）の減少 14,558人 → 11,636人



【まちづくりの基本理念】

「緑と愛と丘のあるまち」

川西町町民憲章

- ― 自然と生活の調和をはかり美しい町をつくりましょう
- ― 働きと工夫によって豊かな町をつくりましょう
- ― あたたかい心で助け合い楽しい町をつくりましょう
- ― きまりを守り、健康で明るい町をつくりましょう
- ― 教養を高め、ゆとりある文化の町をつくりましょう

【目指す将来像】

わたしもあなたも満たされるまち
～共に感じ、共に創り、共に生きる～



私たちは今、不可逆的な人口減少社会の中で生きています。

生産年齢人口の減少や少子化・高齢化の進行によって、これまで当たり前に成り立っていたことが成り立たなくなることも考えられます。地域によっては、既に変革を迫られている地域もあるでしょう。

今まで当たり前だったことのすべてが、これからも本当に必要でしょうか。これまでにあるべき姿として描いていたものを目指し続けていいのでしょうか。

このたび、第6次総合計画策定の取り組みを通じ、町民一人ひとりの幸福度を高めるためには、これまでと力点を变えていく必要があることに気づきました。

これからの川西町は、若者と女性をはじめ多様な人々一人ひとりの活躍に焦点を当てていきます。同時に、医療・福祉サービスや教育の質など地域の安定に必要なものを維持するため、限りある資源の効率的な活用を図り、「小さくても豊かな社会」を作り上げていきます。

一人ひとりが尊重の気持ちを抱き＜共感＞、必要に応じて発想や行動を変容させることで、互いに応援し合う関係＜共創＞と、手を取り支えあって生きる社会＜共生＞を築き、あなたがやりたいことができる、なりたいものになれる、わたしもあなたも満たされていく、未来のかわにしを目指します。

【基本構想の構成イメージ】

まちづくりの理念

緑と愛と丘のあるまち

第6次川西町総合計画で目指す将来像

わたしもあなたも
満たされるまち

～共に感じ、共に創り、共に生きる～

重点目標

若者や女性、多様な人々が活躍するまちをつくります

基本目標1：生活環境分野

安心して快適に住み続けられるまちをつくります

基本目標2：産業分野

挑戦を支え、産業が持続的に発展するまちをつくります

基本目標3：保健・医療・福祉分野

ともに支えあい、健康に暮らせるまちをつくります

基本目標4：子育て・教育・文化・スポーツ分野

夢を育み、心豊かに、学べるまちをつくります

基本目標5：人づくり、地域づくり分野

みんなでつながり、未来につなげるまちをつくります

施策分野

環境（自然環境、生活環境、地球温暖化、循環型社会）、社会基盤（道路、河川、上下水道、都市計画、公共交通、防災・減災、防犯）

商業、農林業、工業、観光業、しごと、交流・移住・定住

保健、介護、医療、福祉（地域福祉、高齢者福祉、障がい福祉、低所得者福祉）

子育て、学校教育、学校施設、社会教育、文化財・文化芸術、スポーツ

町民参画、地域づくり、男女共同、広聴・広報、行政運営、財政運営、住民サービスの向上、DX、多様性社会

【将来像に関する目標達成指標】

幸福度を測る全項目平均 3.17 (R6) ⇒ 3.32 (R17)



【重点目標に関する目標達成指標】

若者の活躍に関する幸福度 2.34 (R6) ⇒ 3.17 (R17)

女性の活躍に関する幸福度 2.37 (R6) ⇒ 3.17 (R17)

